

モルック

【ルールブック】



★モルックとは

フィンランド（カレリア地方）の伝統的なキイッカ（Kyykkä）というゲームをもとに開発されたスポーツが【モルック】です。

★モルックの基本ルール

- 木の棒を投げて、3.5メートル離れたところにある木の棒を倒すゲームです。
- 投げる木の棒を【モルック】、倒す木の棒を【スキttl】、地面に置いて投げる位置を示す木の道具を【モルッカーリ】と呼びます。
- モルックを投げるときは下手投げで行うのが基本になります。
- 原則 2 チームで競技します。
- 1 チームは 5～8 人（年齢性別問わず）とし、順番にかつ交互に投げます。
- 先行、後攻はジャンケンで決めます。
- コートは、縦 10×横 6メートル以上で行います。
- 交互にモルックを投げて倒れたスキttlの内容によって得点を加算していきます。先に 50 点ピッタリにした方が勝ちです。
- 時間制の場合、試合時間が終了した時点で 50 点に近いチーム・個人の勝ちです。

【モルック】



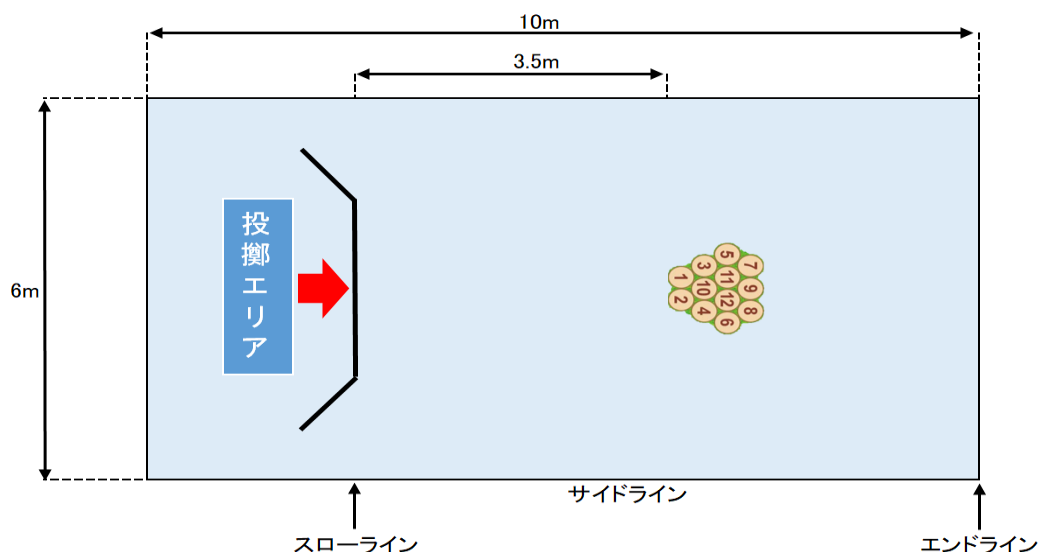
【スキttl】



【モルッカーリ】



【コート説明】



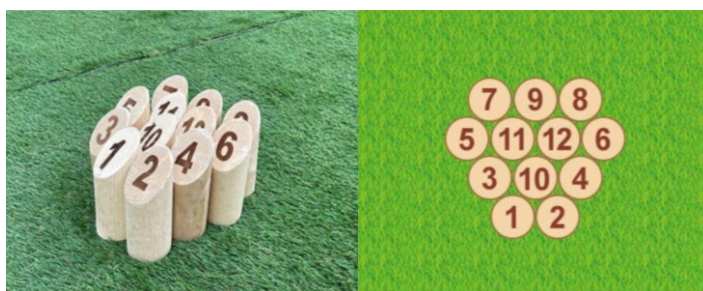
★試合の流れ

- ①モルッカーリから 3.5 メートルの距離にスキttlを並べます。初期配置は下の図のように左側が奇数、右側が偶数になるようにくっつけて並べます。

【スタート】

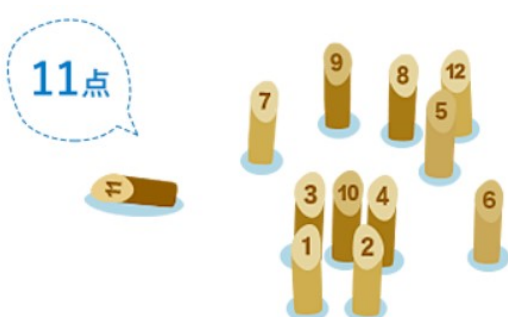


【初期配置】

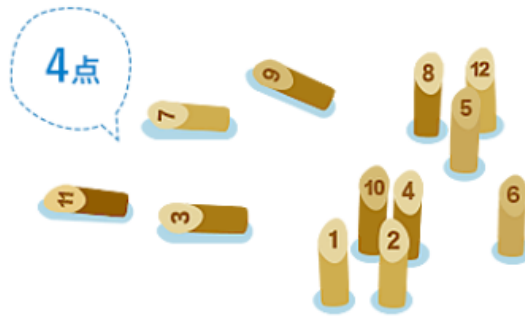


- ②モルッカーリの内側からモルック棒を投げて、スキttlを倒します。倒したスキttlの本数が 1 本の場合は、スキttlに書かれた数字がそのまま点数になります。複数本の場合は、倒した本数が点数となります。

【1 本倒した場合】



【複数本倒した場合】



- ③スキttlを倒れた地点でそのまま立て、次のプレイヤーの順番になりゲームは続行となります。これを交互に繰り返し、50 点ぴったりを目指します。
- ④スキttlが完全に倒れていない（ほかのスキttlと重なって地面についていない）場合は、そのスキttlは得点にカウントしません。

★注意点

- ・モルックは投げたプレイヤーが次のプレイヤーに渡します。
- ・50 点を超えてしまった場合は、得点が 25 点に減点され、ゲームは継続されます。

- ミス（違反）した場合、その投擲は 0 点と記録され、3 回連続で行うと失格となります。
→ 失投（スキットルを 1 本も倒せない）、モルッカーリの踏み越え、投擲順の間違え
- スキットルがコート外に出た場合は、スキットルが止まった位置から真横に動かし、コートラインよりモルック 1 本分内側に立てます。
- モルッカーリの踏み越え防止のため、投擲後は 1 歩下がって後ろもしくは横から出ます。
- モルック、スキットルは消耗品なので丁寧に扱います。